



たていわ通信

令和6年度第2号(6・7月)
さいたま市立館岩少年自然の家
TEL 0241-78-2311
FAX 0241-78-2313



【基本理念】 自然に触れ 自然に学び 自然で鍛える

URL <https://tateiwa-sizen.saitama-city.ed.jp>

館岩では日増しに蝉の声も増え、本格的な夏に向かって鳥や虫の活動も活発になってきました。そのような中、自然の家の周辺には毎日子どもたちの元気な声が響いています。

5月に始まった自然の教室(夏季)も7月13日までに60校が実施をしました。実施校から学校に戻った後の児童・生徒の様子として、「自主的に行動する児童が増えた。」「時間を意識しながら先を見通して行動できるようになった。」「どの場面でも挨拶をするようになった。」といった嬉しい報告が数多く寄せられています。引き続きどの学校にとっても思い出深い3日間となるよう努めてまいりますので、9月以降もどうぞよろしくお願いいたします。

「自然の教室」の様子を紹介します！

溪流川魚キャッチ

川魚の素早い動きに悪戦苦闘しながらも、初めての体験に目を輝かせていました。

【新開小学校】



オリジナルの旗も素敵！

ルールを守って安全に
みんなが楽しむ
夏休みの思い出だ！！



野外炊飯

火を起こす、野菜を切るところから作ったカレーは最高でした。

【左…東岩槻小学校 右…川通小学校】

コースター作り

太さや色を考えて選んだ木を、ノコギリで一生懸命切りました。世界で1つだけのコースターができました。

【馬宮東小学校】



避難訓練

指示に従って真剣に避難することができました。

【鈴谷小学校】



ファイヤーロード

ろうそくで灯された幻想的な道を歩きながら友達と話した時間は、思い出の1ページとなりました。【大宮別所小学校】



緑の体験活動

自然の家の環境美化のため、花壇にサルビアやポーチュラカなどを植えました。

【桜木小学校】



馬宮西小学校と館岩小学校が交流しました！



6月19日(水)に馬宮西小学校5年生と南会津町館岩小学校3～6年生が交流を目的とし、一緒に活動しました。交流会ははじめの会に始まり、川魚さばき、前山登山を行いました。また、お弁当も一緒に食べました。

交流会はじめの会では、一人ひとりが自己紹介を行いました。初めは緊張した面持ちでしたが、次第に笑顔も見え始め、和やかな雰囲気になりました。川魚さばきでは、初めての体験に戸惑う馬宮西小学校の児童に、館岩小学校の児童が優しく声をかけ、さばき方を教えている様子が見られました。前山登山では、励ましの声を掛け合い、休憩中には好きなことなどを伝え合うなどして、山頂まで登りきることができました。学校を超えた交流をたくさん見ることができ、充実した時間を過ごしていました。



◀ 穴の開いたササの葉
葉が若葉でクルリと巻いているときに、チョウなどの幼虫がかじった跡が、一列に空いた穴の正体です！

自然見～つけたっ！
6・7月



◀ トクサ
自然の家がある木賊(とくさ)地区は、トクサがたくさん生えていたからという説が有力なようです。



▲ミヤマクワガタ



▲サンショウウオの幼体

マダニに注意！ ⚠

自然の多い場所に生息しているイメージがあるマダニ。実は、山の中だけでなく、公園や庭、畑など身近な場所にも生息しています。そして、ちょうど今の時期も含めた、春～秋にかけて活動が活発化します。マダニの栄養源は哺乳類の血液であるため、我々ヒトも注意が必要です。



マダニ

家庭内に生息するダニのほとんどが0.5mm以下に対して、マダニの体長は、2～4mmと肉眼でもすぐに確認できる大きさです。吸血すると15mmを超えることも！

マダニにかまれたら…

吸血中のマダニを見つけた場合は、自分で取ろうとせず、できるだけ医療機関(皮膚科)で处置しましょう。(無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまい化膿することがあります。)

予防するために…

◎長袖、長ズボン、軍手、長い靴下を着用し、首にタオルを巻いて肌の露出部分を少なくしましょう。



長い靴下